

地域まちづくり未来事業 逆戻りさせてはならない

平成大合併の大きな間違いは、急激な人口減少社会を予見できなかったことです。

合併15年間で人口は14・5%減少し、朝日

と温海地域は3割以上も減少しました。

前榎本市政下で、行政改革による自治体

リストラが行われ、旧町村の独自サービスの

廃止と市民の負担増、職員削減で、旧町村の行政力が大きく低下しました。

それを解決するため、皆川市長は地域ま

ちづくり未来基金を創設し、事業を打ち出しました。

旧町村に対する地域振興予算は、2400万円から平成30年度、一気に2億円台になり、

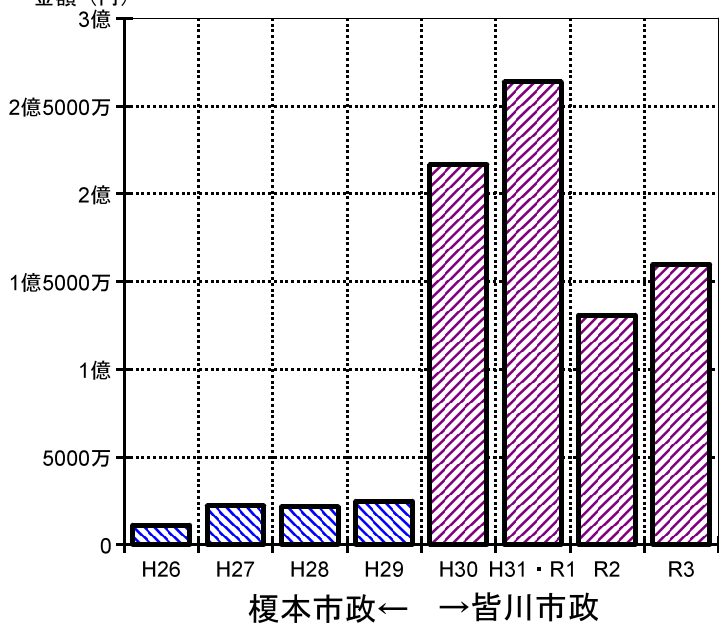
地域庁舎で自由にできる小規模修繕予算も令和3年度、各庁舎へ1000万円に拡充され、

修繕が素早くできるようになりました。

この流れを逆戻りさせてはなりません。

この流れを逆戻りさせてはなりません。

鶴岡市の地域振興予算の推移



榎本市政 ← → 皆川市政

令和3年度 藤島地域 地域まちづくり未来事業

- 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現 4,082千円
 - 藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業
 - 藤島農産物元気事業
 - 藤島地域地産地消推進事業
 - 藤島地域次世代を担う子供たち食農体験事業
 - 庄内農業高等学校地域連携事業
 - 藤島地域首都圏大学・農業農村マッチング事業
- 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 13,213千円
 - 藤島歴史公園「Hisu花」魅力発信事業
 - 藤島歴史公園「Hisu花」から始まる地域づくり事業
 - 東田川文化記念館利活用事業
 - 藤島歴史公園備品庫整備事業
 - ふじ管理エキスパート養成支援事業
 - 藤棚の整備事業
 - ふじの里づくり事業
 - 鶴岡伝統芸能祭開催事業
 - 藤島地域里山整備活性化事業
 - 藤島地域お土産品開発事業
- くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築 5,208千円
 - 長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業
 - 藤島地域公共交通調査事業



(写真は市の広報・予算特集号から)

藤沢周平を読む⑤

鈴木重雄（八色木）



ように思われた。

山形師範を卒業し赴任した学校は、隣村の湯田川中学校である。隣村といっても湯田川村は山一つ越えた山懐の深い温泉地である。赴任すると2組ある2年生のB組を担当することになった。

先生になりたいと思つて就職し、一番驚いたことは、学校は予想以上に忙しい職場だったことだ。

多忙の原因の一つは、小中学校合同で保健教育の研究指定校を引き受けたことである。

「生徒の保健教育はどうあるべきか」といったテーマに、2年計画で設備や教育計画を整えようというのである。

刺激的で面白かったが、発表までの期間は忙しく、連日9時過ぎに帰宅することが多かった。

こうした忙しさの他に本命の授業があり、担任の生徒がいる。

教師を聖職とは思っていたわけではないが、肉体を酷使するような忙しさは、労働でなくて何だと思つたようになつた。

就職して3カ月経つた頃、教師をやめようかと思つたことがあつた。

一応は発達心理学なども勉強したばかりだが、何の役にも立たなかつた。

周平の頭にあつた学校教育というのとは余りにもかけ離れている。

周平は自信を失い、あるとき中村作右衛門を訪ね、学校をやめたくなつたことを口走つてしまつた。

早速こつちへ来いと奥の部屋に連れて行かれ、しこたま叱られた。そんな信念のないこととどうするかと怒られたが、周平はぐうの音も出なかつた。

しかし、海の好きな周平は夏休みの海浜学校の頃から、急に元氣を取り戻し、9月の教員異動に伴う担任の編成替えがあつた後に、さらに元氣になつた。

新しく担任になつたのは1年生で、男女あわせて55人のクラスだった。

小杉重弥校長は大井晴先生を副担任につけてくれた。

さきに担任した1級上の生徒達が、思春期に片足を突っ込んだ感じ、大人っぽくなつたのに比べると、幼さと明るさがあつた。

教室で私語はする、喧嘩はするで、一日中怒鳴つていたが、そのうち生徒達がかわいくて仕方なくなつた。

多分ここが教育の原点だったのだろう。

もう教師はやめたいなどは微塵も思はず、一人前の教師になる道を歩き始めたのであつた。

皆川市長の業者支援 もつと高く評価されていい

市内の商業業者は、「新型コロナウイルス対策で、皆川市長の業者支援はもつと高く評価されていい」と語っています。

「鶴岡市小規模事業者経営継続支援金」は、

1回目が令和3年1月～3月の売上減少、月30%以上に対して一律20万円を支給しました（7月30日終了）。

2回目は4月から6月まで同様に加え、事業収入が10万円～20万円未満の小規模事業者にも一律10万円を市独自に支給しています。

2回目の申込期限は10月29日までのです。令和2年度も「経営継続支援事業」一律20万円の給付を行いました。

市独自の真水支援

国・県や他自治体の支援策は、資金繰りや感染症対策の設備投資、販路開拓、経営環境の整備を目的にした融資や補助金、休業手当などです。

しかし、鶴岡市の支援策は真水の給付金で、

県内の他自治体に同様の支援策は見当たらないと言います。

第2回鶴岡市小規模事業者経営継続支援金
令和3年7月現在

新型コロナウイルス感染症の影響により売上減少した小規模事業者の経営継続を支援するため、鶴岡市独自に支給金を支給します。

支援金額	1事業者あたり20万円または10万円（1回限り） 交付要件(1)の事業者収入が20万円以上 → 20万円 20万円未満10万円以上 → 10万円
申請期間	令和3年10月29日（金）必着
申請方法	新型コロナウイルス感染症の影響を最大限に防ぐため、原則として郵送で提出 【提出先】 市庁3階401 鶴岡市商工労働政策課 経営継続支援課 鶴岡市小規模事業者経営継続支援事務局 まで
対象業者	市内に事業所を有する法人又は個人で、以下の要件を満たす者（小規模事業者） ○小規模事業者の要件について（小規模事業者支援法に基づき） 業種区分 営利目的を有する産業（B） 製造業その他 20人以下 販売・サービス業 50人以下 【その他業種、従業員数】 20人以下 東洋館の事業所（山形支店）を有する場合は、各事業所の従業員数を合計した人数
交付要件	(1) 令和2年または令和3年4月～令和3年6月までのいずれか1～12月の事業収入が10万円以上あること (2) 令和3年4月～令和3年6月までの売上減少率が令和2年同月同月と比較し20%以上増加した月があること (3) 個人事業主については、事業収入が法人と同一であること (4) 交付申請の時点において金融と事業を兼営すること (5) 国の補助する「新しい生活様式」を支援すること 【申請書】 交付申請書（事業者）及び「保証」同意書 【申請書2号】 売上減少計算書 【保証】 保証書（保証書）を添付してください。 ※ 詳細や様式のダウンロードは「鶴岡市ホームページ」でご確認ください。 http://www.city.tsuruoka.lg.jp 小規模事業者経営継続支援事業について ※ 申請書類等を送る必要なのは、申請書と申請書2号、申請書2号の添付です。 ※ 原則郵送をお願いします。やむを得ず窓口での申請を希望される場合は「鶴岡市職員待合室」（電話予約 24・25）までお受けしますので、電話で予約をお願いします。 ※ 申請期間：令和3年10月29日必着 TEL：0235-29-2715（直通） FAX：0235-29-2719 鶴岡市小規模事業者経営継続支援事務局

ひと 日向康吉② 人生の師と言われ 青山 崇

現代の課題であるバイオテクノロジー（「バイオロジィ・生物学」と「テクノロジー・技術の合成語」）に挑戦している。

「私たちはアブラナ科植物の自家不和合性の研究から始めた」。日向氏は上記のことについてこう述べてい



自家不和合性とは、自分以外の花粉とだけ交配し、自分たち同士で交配しないための仕組みである。私たちは「自家不和合性」のしくみが備わっているアブラナ科植物を研究対象としている。

アブラナ科といえは「菜の花」を思い浮かべるが、他にもキヤベツ、白菜、大根、ブロッコリーなどの馴染みのある野菜も同じアブラナ科の植物である。

めしべは、自分に付着した花粉をどうやって見分け、自分の花粉をどうやって拒絶しているのか。花粉をどうやって拒絶しているのか。つまり彼女からの情報が彼女にどのようには伝達されているのかを、遺伝学の手法を使い、分子レベルで解き明かすことができればと考えている。

「アブラナ科と自家不和合性」の研究をもとに、現職中はもちろん、1997年大学を定年退官後は、バイオテクノロジーの研究を進め、東北地方の関係機関の会長・委員となりバイオテクの発展に寄与した。

最後に日向先生の大学の教え子が語っている。

「僕は大学で日向康吉先生に出会い、自家不和合性を教えていただいた。

その時は「これは面白い」という感動に近いものでした。日向先生は、僕にと

つての師匠であり、出会わなければ今の自分はないと思っています。（「菜の花からのたより」へこの人が自分の先生活だ。品種改良と分子生物学）



奇っ怪だぜ

市長選挙は、無所属同士の一騎打ちの模様。現市長・皆川さんは、前回同様どの政党からの推薦も受けないで市民党を名乗るといいますが、話し合いの結果、共産党は、政治姿勢を確認

して自主的支援をする」と発表した。

▲一方相手候補も無所属で出るらしいが、張り出しているポスターや幟旗を見ると、自公会派の市議会議員や市民系の候補者と一緒で、反市長派の人と並んでいる。賑やかに目立つほどの数だから、相当の金を使ったんでしよう。自民党が市政を奪還するために、大金を投入しているの見え

る。これで無所属とは奇っ怪な・という事だ。▲前回の市長選挙は、長く続いた自民党市政を替えようと、野党が手を組んだんだ。しかも、致道館の傍には相応しくない奇っ怪な姿で、バカに高額な文化会館に批判が沸騰し、新人の皆川さんが勝ったんだ。しかし、どうしたんだ・今回は？

▲奇っ怪じゃございませんか。前回反自民で皆川支持を表明した国會議員が、皆川支持を言いながらも、市政を奪還しようとする自民前県議の支持も表明したとの報道だ。しかしこの方々、野党統一候補で当選した方々で、当選時は共産党にも感謝の弁があつたと聞いていますから、どっちも推薦は・そんなバカな・となるでしょうや。▲正に奇っ怪でしょう？ なせそうするのか。両方推してどうするんじゃ・だ。ハッキリさせないと野党統一候補として当選に尽力した有権者を裏切る事になります。（石川）

